



豊かな自然に、ひと、もの、まちが輝く健康都市、網走

市議会だより

第95号
(令和元年5月)

発行／網走市議会 編集／網走市議会広報委員会



『議場コンサート』（会場：網走市議会議場 3月8日撮影）出演：しゃ〜みん♪

【もくじ】

平成31年第1回定例会概要・・・	2 P
各会派代表質問・・・・・・・・・・	3～6 P
議案の審査結果、	
議場コンサート・・・・・・・・・・	7 P
補正予算概要・・・・・・・・・・	8 P

市民のみなさまの傍聴をお待ちしております

次の定例会は6月中旬ごろ
開催予定です。

※詳細につきましては、議会事務局へ
お問い合わせください。

■問い合わせ
TEL 44-6111(内線281・282)



中継ホームページ
はこちらから

3月定例会のトピックス

平成31年度予算案めぐり活発に質疑 平成31年第1回定例会の概要

平成31年第1回定例会が3月1日より開会となり、本会議では水谷洋一市長から平成31年度市政執行方針、三島正昭教育長から平成31年度教育行政執行方針が示されました。

これを受け、2日間にわたり各会派による代表質問を行い、あわせて平成30年度各会計補正予算案等の審査を行いました。その後、平成31年度予算等審査特別委員会（議長を除く14名で構成）を設置。委員長に井戸達也氏、副委員長に金兵智則氏が選ばれました。

平成31年度予算案として一般会計233億3648万円、国民健康保険や後期高齢者医療など9の特別会計117億5507万円、水道事業会計17億954万

円が提案されました。市庁舎建設基本構想の策定や市手話言語条例案など、実質5日間約28時間におよぶ質疑がなされました。その結果、各予算案は3項目の附帯意見（※別表参照）を付し、結政の会、志誠会、公明クラブ、オホーツクの4会派と無会派1人の賛成多数によって原案どおり可決しました。

採決に際し賛成の立場から、4会派を代表して栗田政男議員（オホーツク）が「未来につながる新たな事業に積極的に取り組まれている」と討論。さらに小田部照議員（無会派）が「生命・財産を守る事業や安心して暮らせる事業に対して評価する」と賛成討論を行いました。

松浦敏司議員（無会派）は「保育園の統合と児童館の民営化など行政改革の推進は職員の業務量の増大などで、職員の意欲低下につながり、チェック漏れなど問題が起きやすい状況にある」と指摘し、一般会計及び6特別会計、関連議件について反対の立場から討論を行いました。



※別表

（附帯意見）

1. 平成30年度に発生した2件の業務上横領を受け、補助金支出や委託を行って

2. 庁舎建設基本構想策定事業については、まちの将来を決める重要な事業であることから、まちの全体的かつ長期的な視点を持ち構想すること。

3. 各種計画の策定及び事業の遂行に当たっては、協働の精神をより一層尊重したうえで、市民の意見反映の手段や方法の充実と強化を図ること。

各派代表質問

結 政 の 会
平 賀 貴 幸



問) 今後の税収と財政見通しはどうか。

答) 人口減少と共に市税収入も減少傾向。特に生産年齢人口の減少は、税収減に影響を与える。市財政の見通しは、人口減少や公債費算入の減少により地方交付税総額が減少傾向にあることや、歳出でも高い公債費負担と、社会保障関係費の増大、市庁舎などの大型公共施設の耐震及び老朽化対策も急務であることから、公共施設の在り方や事業の再構築など、財政規律のバランスを念頭に、懸案事項を丁寧に整理する必要がある。

問) 今年度全面委託された除雪には、なんらかの要因で除雪の質に変化が生じ、これまで寄せられなかった苦情に繋がっているが、対応は。

答) 委託後も、従来の除排雪方法と変更がないため変化は生じていない。一方で、除雪オペレーターの高齢化や担い手不足が課題であり、研修受講など技術の向上を図る。

問) L G B T など多様な性については対応が求められる課題。網走市男女共同参画プランや他の網走市の条例や計画に基本的な考え方は示されているか。

答) 明確な位置づけはないが、一人ひとりの人権は尊重され、不当な差別や偏見はあってはならないと認識。



問) 多様な性への理解促進に向けた啓発活動や、理解促進に向けた知識を広めるための情報提供、偏見をなくすための啓発をどのように進めるのか。

答) 現時点でこうした相談はないが、今後、相談や声が寄せられることがあれば、どのような対応が良いのか、慎重に検討を進めたい。

問) 新市庁舎建設について現時点での基本的な方向性やスケジュール感は。

答) 現庁舎の耐用年数や、安全・安心なまちづくりの観点、現在最も有利と考えられる「公共施設等適正管理推進事業債」の期限から、新年度からは「基本構想」策定に着手し、その後基本設計・実施設計を手がけ、2022年度に建設着手といったスケジュールを考えている。

問) 庁舎の建て替えはあらゆる世代がまちづくりと網走の将来について考える機会にもなるが

どのような取り組みを進めるのか。

答) 住民懇談会やアンケート、パブリックコメントなどを実施し意見を伺う。また、庁舎建設基本構想の策定にあたり、市民公募、学識経験者、各種団体からの推薦者などで構成する検討委員会を設置し、協議・検討を行う。庁舎建設には、多様な意見聴取の手法を取り入れながら進めたい。

問) 新市庁舎を中心市街地に建設するのだとすれば、中心市街地の活性化も併せて検討が必要。人が集まる場所、集まりたい庁舎になれば、網走の中心市街地の活性化も進む。しかし、現状では中心市街地の活性化との繋がりや中心市街地活性化法の適応による基本計画策定などの考え方が見えてこないが。

答) 中心市街地活性化基本計画は、公共と民間がそれぞれエリアの整備や事業者の進出などの役割と構想を整理する計画だが、民間事業者の現状では、計画策定は難しい。新庁舎の建設と中心市街地の活性化は、昼間人口の増加による波及効果や、周辺には、金融機関、病院、商店街、飲食街などの都市機能が集積されているので「にぎわいのある商業地の形成」につながることを期待される。



問) 開業医の誘致はどの診療科を対象に募集するのか。予算執行の手法と開業医及び病院の誘致目標数や規模の目標は。

答) 医療法上の診療所で「内科を含む診療科の診療が可能なる方」を対象。実際に助成制度の活用が決まれば補正予算で対応。まずは1件目の取り組みを積み重ねたい。

問) JR網走駅前の小売店を含めた、にぎわいづくりをどう進めるのか。

答) 駅を利用する市民と観光客の利便性から、駅前コンビニエンスストアの必要性は認識。現在の空き店舗が営業上の最適地とは限らないことから別の視点から出店の可能性について対応策を探っていく必要があると考える。

※その他、多数の項目にわたり質問しました。

各派代表質問

志 誠 会
立 崎 聡 一



問）市のビジョンに対する市民意識や適正な人口規模についての認識を伺う。

答）当市における適正な人口規模を示すのは困難。人口減少社会の課題は、年齢別の人口構成。人口減少と人口構成の変化は、社会保障制度や経済活動に大きな影響を与えるため様々な施策に取り組む。政策誘導による交流人口の拡大のほか、転出抑制・転入増加を図るため、効果的な社会システムを再構築、社会の活力を維持することが重要と考える。市民と課題を共有し、まちの魅力を創出し、ポテンシャルを活かしたまちづくりを進める。

問）当市の財政状況に対する現状認識は。

答）歳入はふるさと納税が好調。歳出は高い公債費負担が続くなか、少子高齢化に伴う社会保障費の増大、庁舎等の耐震化、老朽化対策に取り組まなければならない。市債残高は年々減少し、網走港整備特別会計と能取漁港整備特別会計の実質収支の改善も図られており、財政状況の傾向は改善の方向と認識している。



問）市庁舎の建替えについての考え方は。

答）自然環境の保全と市民が暮らしやすいまちづくりを目指し、市街地における適切なエリア配置、持続可能な都市経営を推進するためにコンパクトなまちづくりが重要。都市計画マスタープランで中心市街地は、都市拠点として行政・業務・観光・市民の交流の場と位置づけ、金市館ビル跡地に新庁舎を建設することにより、都市拠点の機能強化が図られると考え、総合的な評価として、金市館ビル跡地を適地と判断した。新庁舎建設に向けた検討では、市民意見に耳を傾けながら具体的な検討を進めることとし、新年度には、新庁舎の基本構想、場所、規模、機能、財源など設計の前提となる庁舎建設基本構想に着手する。

問）もち麦栽培に関する意向を伺う。

答）もち麦は、健康食材として定着してきてい

る。種子の確保や乾燥工場の整備などの課題を解決し、もち麦の生産に取り組む。

問）網走湖のシジミ資源確保の方向性とサケ・マスふ化放流事業の推進、河川環境保全の考え方は。

答）網走湖のシジミ資源は、近年大規模な産卵が見られず、心配な状況。昨年3月に網走湖ヤマトシジミ資源対策検討会を設置した。サケ・マスふ化放流事業は、資源管理と育てる漁業の推進、サケ・マスを取り巻く環境の調査・研究が重要。網走川流域の環境保全は、網走川流域の会を中心に、活動の充実が図られ、活動の輪が地域全体に広がっていくことに期待し、市も積極的に関わっていく。



問）観光振興政策全体についての考え方は。

答）観光コンテンツの磨きあげや受入環境整備、網走の魅力の発信・プロモーションに加え、札幌・道央圏域に観光客が集中している事を踏まえ、圏域内も含めたアクセス利便性の向上に努める。

問）バイオマス発電所の排熱利用に向けた施策についての方針を伺う。

答）バイオマス発電の排熱を活用した事業を、取り組んでいきたいとの意向が事業者サイドにある。各関係団体による意見交換などをし、排熱を活用したビジネスの可能性を研究する。



問）防災体制の取り組みの強化を。

答）防災体制の強化に、FMあばしりと連携し、災害時における市民への新たな情報伝達手段の構築に取り組む。地域防災力の強化は、自助、共助、公助の取り組みを地域全体で共有していくことが必要と認識している。

問）学力向上と子どもの社会活動の充実を。

答）子どもの自ら学ぶ意欲を高め主体的に学びに向かうことができるよう、それぞれの状況に応じ、きめ細かな指導を行う。子どもたちが個性ある社会人として自立できるよう職場体験などを通じたキャリア教育を充実させていく。

問）ラグビーワールドカップ2019代表チーム合宿受け入れを万全の態勢で。

答）合宿受け入れは、市庁舎の看板設置等で市民へ周知し、歓迎の機運を高める。大会に出場する代表チームの合宿地であることの周知を図り、市民の気運を高めていく。

※その他、多数の項目にわたり質問しました。

※質問及び答弁については、要約して紹介しています。詳しい内容につきましては、市議会ホームページ上及び市立図書館所蔵の会議録をご覧ください。

各派代表質問

オホーツク

栗田 政男



問) 郊外地区道路の整備は喫緊の課題であり、農業管理機械・輸送車両の大型化により老朽化が進んでいる。整備には多額の費用が掛かることから農業予算の活用を含め、国へ要望する必要があると思うが。

答) 郊外地区の舗装改良や道路幅員の拡幅などは、規模が大きくなることから、工事費用も大きく、国の交付金予算などの活用が必要と考える。農業予算の活用については、いろいろな課題もあるが、事業の実施主体である北海道とも協議しながら、検討して行きたいと考えている。

問) 駅前周辺の活性化の中で観光施策であるDMO構想があり、当市の特色である中心市街地と分離した駅前の活性化の一助となると考える。観光対策と同時にコンビニエンスストアの空白地帯となっている呼人地域も含めたコンビニ出店に支援してはどうか。

答) 網走駅前にあったローソンは、現在、空き店舗となっており、立地条件や経営上の問題等から解決の目途は立っていない。呼人地区では、現在営業を行っている一般雑貨店が、閉店を予定されていることから、地域と連携を図り、コンビニエンスストアの出店の可能性について協議を行っているが、結論には至っていない。今後、両地域においては、慎重に協議を進めていきたい。

問) JR問題について当市は存続の方向で考えていると認識しているが、今後発生する多額のランニングコストに地方自治体の応分の負担が予想される中で廃止する英断も必要と考えるが見解を。

答) 石北本線及び釧網本線の両路線とも、残すべき貴重な社会資本であると考えている。



国は維持困難線区の地方自治体に対し、鉄道施設に関する設備投資と修繕について、国と同水準の支援を求めている。沿線自治体は厳しい状況にあるが、国の動向を注視して維持に向けて取り組む。

問) 平成31年度事業の中で開業医の支援事業があるが、健康都市を目指す当市では開業医も含めた医師確保は最重要課題である。積極的な予算付けを望むが。

答) 「クリニックの閉院」「クリニック医師の高齢化」等により厳しい状況となっている。医療提供体制の確保を目指し、市内に新たに診療所を開設する開業医に対し、開設費用の一部を助成する開業医誘致助成制度を創設し、医大等への情報発信を行う。事業が決定すれば補正予算で対応していく。

問) 市庁舎の建設については耐震診断の結果を受けて緊急の課題となり、候補地の方向性が示された。候補地については賛同するものであるが、近年にない大型の建設事業であることから、大手コンサルだけでなく地元建設企業が設計に参画・協力する方法を検討しては。

答) 市としては、設計段階において市の意向や市民の意見を反映しやすいことから、従来発注方式の「設計施工分離発注方式」で考えている。様々な業種や団体など多方面から意見をいただき策定する。

問) 網走南ヶ丘高校定時制の交通手段の支援は高く評価する。様々な事情により、全日制に通えない人達の受け皿としての価値は大きいと考える。入学希望者が減少している状況下でなくてはならないものと考えてるが、見解を。

答) 網走南ヶ丘高校定時制への支援については通学手段の確保と利便性の向上のため、下校時のタクシー乗り合い利用の取り組みをする。入学者は少ないものの定時制課程の存在意義は大きいものと考え、引き続き維持・存続に向けて支援していく。



※その他、多数の項目にわたり質問しました。

各派代表質問

公明クラブ

佐々木 玲子



問) 市庁舎の建て替え候補地が、金市館ビル跡地周辺敷地を適地と判断された事は、公共交通の結節点、官公署との関連性が高く、金融機関、医療機関、福祉型住居など都市基盤が集積されており、妥当な判断だと思う。利用する市民の意見が重要だが、どう意見を幅広く集約するか。

答) 住民懇談会や市民アンケートのほか、パブリックコメントなどを実施し、市民各層からの意見の集約を考えている。また、庁舎建設基本構想の策定にあたり、学識経験者、各種団体からの推薦者、公募する市民で構成する検討委員会を設置し、協議検討を考えている。

問) 新たな市庁舎の建設に際し、民間団体との複合化・合築の検討、福祉関係施設との複合化、食料品を扱う店舗など機能の付加の検討を。

答) 現時点で具体的な内容についてお示しするものはないが、財政の制約、場所の制約、時間の制約など、多くの調整要素があり、ひとつずつクリアし基本構想として取りまとめたい。

問) 市庁舎の建設に際し、財政状況を心配している市民の皆様安心して庁舎建設に協力頂く為に財源の方向性を。

答) 「公共施設等適正管理推進事業債」は、最も有利と考えられる財源措置の為、活用することを基本に考え、行財政運営に支障をきたさない有利な財源を活用する事が重要と考える。

問) 連日報道されている児童虐待について、心が痛んでならない。当市の現状把握はどうなっているか、その対応策として子どもに関わる各関係機関が縦割りの弊害を排して、学校や児相、そして警察などが状況をタイムリーに把握して対応して行くという「情報共有システム」の構築を考えてはどうか。

答) 当市における児童虐待の把握は、保育園等福祉施設、学校、関係部署、児童相談所や警察からの情報提供により把握しており、その後の対応についても、「ケース会議」などを開催し、支援している。又、情報共有システムの構築については、関係機関の中で、確実に情報の引き継ぎや共有は大変重要な事と考えており、現在も児童相談所や警察とは情報共有に努めており、重要であるが、北海道では導入されていないため今後の状況を注視していきたい。

問) 不妊治療に加え不育症治療が本年実施され

る事になり少子化対策が前進したと評価するがさらなる対策として治療がうまくいかない場合の心のケアや男性不妊への対応など、より専門的な相談支援のできる「網走版不妊相談センター」の設置が必要ではないか。

答) 高度な専門性を伴うことなどから難しいと考えるが、各関係機関と連携しながら支援体制の充実に向けて取り組んでいく。

問) 障がい者の就労支援の本格的な体制が必要だが、市内には応じる体制の企業が容易に出てこないと理解している。日体大高等支援学校の生徒も農業実習をしており、卒業後の就労支援を地元の自治体として支援する必要もあることから、視点を変え「農福連携」を考えては。

答) 農福連携の取り組みは、地域における障がい者の働き場となるだけでなく、労働力不足や過疎化といった問題を抱える農業にとっても、担い手の確保に繋がる可能性があり、重要な取り組みと考えるので、障がい者が当市において実際に農作業等に従事するにあたりどのような課題があるか情報収集を図るなど、調査・研究を行っていききたい。

問) 資源の枯渇が著しいウニのカゴ養殖に成果が出ている。他の生産地域では種苗センターがあるため、生産量の確保が一定程度出来るようになっている。種苗確保のため、オホーツク沿岸に種苗センターの設置を検討してはどうか。

答) 道内でも他に種苗生産施設があるが、放流効果や管理運営面での課題があると聞く。施設経営の安定と管理運用のあり方、人材や技術的な課題など、漁協、水産技術普及指導所、関係機関と連携し、整備の必要性など研究したい。



問) 当市の奨学金制度は、他の資金を利用していない事が条件のため、借り入れが出来なかったケースが多いと認識している。将来ある子どもたちの為に毎年予算を組んでいるのだから活用して欲しいが、制度上借りる事ができない現状にある。給付型に制度変更を検討しては。

答) 借り入れの条件は、貸与型奨学金の課題も考慮し、見直しを検討していきたい。給付型奨学金制度については、市単独での制度は財政面から厳しいと考える。

※その他、多数の項目にわたり質問しました。

※質問及び答弁については、要約して紹介しています。詳しい内容につきましては、市議会ホームページ上及び市立図書館所蔵の会議録をご覧ください。

第1回定例会(3月)の議決結果について

議案と議決結果 (○：賛成、×：反対) ※議長は、議決に加わりません。	結 政 の 会					志 誠 会			公明クラブ	オホーツク		無会派		
	金兵 智則	川原田英世	平賀 貴幸	山田庫司郎	渡部 眞美	井戸 達也	近藤 憲治	立崎 聡一	永本 浩子	佐々木玲子	栗田 政男	古都 宣裕	小田部 照	松浦 敏司
○議員別議案賛否一覧表（賛否の分かれた議案）														
議案第 1 号 平成31年度網走市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第 2 号 平成31年度網走市市有財産整備特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第 3 号 平成31年度網走市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第 5 号 平成31年度網走市網走港整備特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第 6 号 平成31年度網走市能取漁港整備特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第 8 号 平成31年度網走市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第10号 平成31年度網走市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第18号 網走市立保育所条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第20号 網走市児童館条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○全会一致で可決した議案・意見書案（議案などの詳細については、網走市議会ホームページで公開しています）														
議案第 4 号 平成31年度網走市公共下水道特別会計予算	議案第29号 平成30年度網走市水道事業会計補正予算													
議案第 7 号 平成31年度網走市簡易水道特別会計予算	議案第30号 公益的法人等への網走市職員の派遣等に関する条例制定について													
議案第 9 号 平成31年度網走市個別排水処理施設整備特別会計予算	議案第31号 網走市職員の任免及び服務に関する条例及び網走市職員給与条例の一部を改正する条例制定について													
議案第11号 平成31年度網走市水道事業会計予算														
議案第12号 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	議案第32号 網走市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について													
議案第13号 網走市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定について	議案第33号 網走市地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の一部を改正する条例制定について													
議案第14号 網走市手話言語条例制定について	議案第34号 網走市公園条例の一部を改正する条例制定について													
議案第15号 報酬職員給与条例の一部を改正する条例制定について	議案第35号 財産の取得について													
議案第16号 網走市ふるさと寄附条例の一部を改正する条例制定について	議案第36号 財産の取得について													
議案第17号 網走市地区福祉会館条例の一部を改正する条例制定について	議案第37号 財産の取得について													
議案第19号 網走市へき地保育所条例の一部を改正する条例制定について	議案第38号 市道の路線認定について													
議案第21号 網走市公の施設に係る指定管理者の指定について	議案第39号 平成30年度網走市一般会計補正予算													
議案第22号 平成30年度網走市一般会計補正予算	議案第40号 網走市副市長の選任について													
議案第23号 平成30年度網走市国民健康保険特別会計補正予算	議案第41号 網走市教育委員会教育長の任命について													
議案第24号 平成30年度網走市公共下水道特別会計補正予算	報告第 1 号 地方創生総合戦略検討特別委員会の報告について													
議案第25号 平成30年度網走市網走港整備特別会計補正予算	諮問第 1 号 人権擁護委員候補者の推薦について													
議案第26号 平成30年度網走市簡易水道特別会計補正予算	意見書案第 1 号 再びブラックアウトを起こさない分散型の電源、原発ゼロを目指し再生可能エネルギーの大規模普及を求める意見書提出について													
議案第27号 平成30年度網走市介護保険特別会計補正予算														
議案第28号 平成30年度網走市個別排水処理施設整備特別会計補正予算														

議 場 コ ン サ ー ト

網走市議会は3月8日、恒例の議場コンサートを開きました。今回は、「障がいはいステキな個性」をキャッチフレーズに、福祉イベントなどで活躍中の「しゃ～みん♪」が出演。「しゃ～みん♪」のオリジナル曲や「勇気100%」などを披露。アンコールの声もかかり、場内を温かい拍手が包みました。



トピックス

平成30年度各会計補正予算

及び関連議案を可決

平成31年第1回定例会では、平成30年度一般会計補正予算案や国民健康保険特別会計補正予算案、介護保険特別会計補正予算案、公益的法人等への市職員派遣に関する条例案なども審議可決しました。

一般会計補正予算案は3億979万円を追加し、総額247億3396万円とするもの。ふるさと寄附金の増加に伴う積立金（7650万円）や路線バスの運行経費助成が当初見込みを上回ったための追加（426万円）、省エネ住宅新築補助の申請者の増加を受けての補助金（260万円）、プレミアム付商品券発行に係る経費の追加（276万円）などを盛り込みました。

総務経済委員会（3月5



ふるさと寄附の返礼品の一例

日開催）では、ふるさと寄附事業で発生する送料や仲介企業に対する手数料の実態について質疑があったほか、路線バスに関して、西山通線の利用実績の伸びを受けての路線維持の必要性について議論がありました。公益法人等への市職員派遣に関する条例案については制定の背景と必要性を

確認する発言がありました。

文教民生委員会（3月6日開催）では、プレミアム付商品券発行の開始時期や対象となる人数、世代などについての質疑がありました。

また、へき地保育所の統合に伴い嘉多山児童公園やさんごそう児童公園を廃止する公園条例の一部改正案や小学校へのタブレットパソコン導入に関する財産の取得など関連議案についても審議し、いずれも原案可決すべきものとして決定しました。



プレミアム付商品券（イメージ）

議会だよりを音声でお届けします

朗読ボランティア団体『声の図書館そよかぜ』は、音読や訪問朗読などの活動をしています。平成13年から目の不自由な方やご高齢の方々のために「議会だより」を音訳したCDを作成し、御希望の方々に無償でお配りしています。

目の不自由な方やご高齢の方が身近にいらっしゃいましたら、ぜひ一声かけてください。

※CDをご希望の方は網走市議会事務局（電話：代表44-6111内線281・282）までご連絡ください。